



# ふる里山田同郷の会 同郷156人が集い親睦深める



あいさつを述べる小川会長

総会では、小川倣弘しやうご会長が「震災からすぐ、ふる里山田同郷の会の会議を立ち上げ、昨年5月には約600万円を義援金として町に送ることができました。会員の皆さんには感謝申し上げます。震災から1年3カ月が経過し、山田町の皆さんは少しずつ前を向いて復興へ向かっています。ハード面は行政が立て直し、ソフト面はわたしたち会員が応援しなければいけない山田で採れたもの、作ったもの

東京近郊に暮らす本町出身者などが集い、交流を深め合う「ふる里山田同郷の会」が6月17日、東京都文京区の東京ガーデンパレスを会場に開かれました。こととして26回目となる同会には156人が出席。町からも佐藤勝一しやういち副町長をはじめ職員5人、町議会から昆暉雄こんけいゆう議長をはじめ議員3人、山田町商工会から阿部幸榮あべゆきえい会長、三陸やまだ漁業協同組合から生駒利治なまきりぢ組合長が参加しました。総会終了後には「懇親交流の集い」が開かれ、参加者は年に一度の同郷人との交流を楽しみました。

を買う、食べる、使うことが一番の支援だと考えています。会員の皆さんは山田の特産品などをたくさんの人に勧めてください。本日は限られた時間を存分にお楽しみください」とあいさつしました。

続いて、佐藤勝一副町長が町の近況を報告。「震災以来、ふる里山田同郷の会の皆さんにはいち早く、義援金をはじめ、支援物資などいろいろな面で多大なるご尽力をいただき、感謝と御礼を申し上げます。あの3月11日の大地震・大津波で家、車、財産の全てが流され、大災害となりました。昨年12月には復興計画を策定し、復興事業を進めています。町の使命はさらにスピードアップをして、町民の皆さんの生活の再建を進めていくことです。皆さんと力を合わせ、心を一つに復興に向けて歩み、新生・山田として立ち直っていききたいと考えます。皆さんの熱

## ふるさとへのメッセージ



### 古里を見守り、支え続け



東京都練馬区  
昆 <sup>つかさ</sup> 秩さん(75歳)  
〔八幡町出身〕

毎年、物産販売を楽しみに参加しています。海産物を見ると山田の海が思い出されて、とても懐かしく感じます。山田のニュースは欠かさずチェックして復興状況を確認しています。復興はとても大変なことです

が、山田を思う人はたくさんいます。これからも古里山田をみんなで支え、応援していきます。山田町に幸あれ！

### 翻る大漁旗に思い乗せて

東京都目黒区  
浜 <sup>てつお</sup> 登 鐵 男 さん(82歳)  
〔田の浜地区出身〕



震災後に「古里へ自分に何かできることはないか」と考えて氏子総代を務める目黒区の大橋氷川神社に、震災時に沖へ避難して無事だった山田の親類から借りた大漁旗を掲げて義援金を呼び掛けました。また、震災を忘れないように町内会のお祭りなどでも掲げています。復興の道は長いものですが、道は前へ進むものです。東京の空に翻る大漁旗に復興への思いを乗せて応援しています。

### 会えることを楽しみに



埼玉県所沢市  
佐藤 豊子 さん(65歳)  
〔豊間根出身・旧姓太田〕

山田が被害を受けたと聞き、いてもたってもいられず、避難所が閉鎖されるまでの約半年間をボランティアとして医療チームと一緒に避難者の健康管理や感染症予防に努めました。現在

も定期的に山田を訪れ、仮設住宅などを中心に見守り活動を行っています。皆さんと話すことをとても楽しみにしています。健康にはお気を付けてお過ごしください。これからも皆さんに会いに行きますので、よろしく願います。



①物産販売では試食コーナーもあり、参加者は古里の味を次々に買い求めていました②懐かしい友人との再会に心が弾む皆さん③躍動感溢れる横浜上菅田はやし会の獅子舞。最後は「けっばれ！山田」と書かれた掛け軸を披露し、会場は拍手と歓声で満たされました。



い思いをぜひ山田町の発展のため、お力添えをお願いします」と述べました。  
その後、平成23年度の事業報告や本年度の事業計画が審議され、原案どおり承認されました。  
総会終了後の「懇親交流の集い」は昆暉雄町議会議長の乾杯の首頭で幕を開け、参加した皆さんはほろ酔い気分でした。皆に花を咲かせていました。アトラクションでは、日本舞踊や横浜上菅田はやし会による舞が披露されたほか、特産品が当たる抽選会も行われ、場内は大いに盛り上がりました。

同会の皆さんが書いた寄せ書きは役場町民ホールに掲示しています。どうぞご覧ください。

また、参加した皆さんは、各地区ごとに「山田町の皆さんへ」と題し、古里山田への思いを込めた応援メッセージを色紙に書き込みました。  
2時間という短い時間でしたが、参加した皆さんは同郷の皆さんとの交流に満足した様子。最後は、出身地区ごとに記念撮影を行い、来年の再会を約束しつつ会場を後にしました。